

特集
Special

レポート
Report

インタビュー
Interview

エッセイ
Essay

レクチャー
Lecture

オピニオン
Opinion

TOP > [レクチャー](#) > [山下塾第4弾 我が国のテロ対策の現状と課題](#) > [山下塾第4弾 第8回 我が国のテロ対策の現状と課題](#)

山下塾 第4弾

山下 輝男

第8回 我が国のテロ対策の現状と課題

第8回 講座

始めに

今回は、NBCRやサイバーテロを除くその他のテロ対策について説明いたします。ポストンマラソンにおける爆弾テロやアルジェリアの人質拘束事件等は記憶に新しいところであり、我々も巻き込まれないという保証はありませんね。

1 大量輸送機関等のテロ対策

9.11米国同時多発テロやスペインでの列車爆破テロに見られるように、大量輸送機関をテロの対象にする脅威が顕在化しています。

鉄道、船舶の対策はスライドの通りであり、またポストンマラソン爆弾テロ等のイベント時におけるテロ対策もスライドのように考えられています。

対策としてはスライドの通りなのですが、現実問題としては、心許ない気がするのは小生のみでしょうか？
夫々の対策の実効性はどうか、しっかり評価されなければならないですね。

(4) 大量輸送機関等のテロ対策(1)



1 鉄道

- ・駅構内・列車内の警備強化
(監視カメラ、巡回警備等自主警備)
- ・見せる警備・利用者の参加
- ・危機管理レベルの設定(I・II・III)と運用
(通常警戒体制→高度警戒→嚴重警戒)

2 旅客船等

- ・海上保安官警乗、ターミナル警戒等

大量輸送機関等のテロ対策(2)



3 多数集合施設等

- (ポストンマラソンのようなイベント含む)
- ・自主警備、情勢に応ずる警備強化
(とは、云うものの東京五輪はどうする?)

4 ハイジャック等の防止

- ・空港の警戒警備強化
- ・航空保安検査強化
- ・機内における保安強化(強化型操縦室扉、スカイマーシャル制度)
- ・航空貨物保安強化

2 ポストンマラソン爆弾テロについて

今春のポストンマラソン爆弾テロ事件の概要はスライドの通りですが、2020年東京オリンピックは果たして大丈夫なのでしょうか？気になるところです。

ポストンマラソンテロについて



1 概要

2013/4/15 14時45分頃、フィニッシュ地点
死亡5名(一般人3名、警官1名、犯人1名)
手製爆弾(圧力鍋+釘など)

2 事前兆候なし

3 中止、事前計画に従い避難、立入禁止
警戒態勢引上げ、州兵・警察・海軍

4 監視カメラ映像公開

5 その後独立記念日行事などより厳重警備に

3 東京五輪テロ対策始動

東京オリンピックを睨んだテロ対策も動き始めました。報道ベースですが、スライドの通りです。

東京五輪テロ対策



1 警察庁連絡室設置(9月12日)

2 爆弾テロ訓練の実施
(9月12日、選手村予定地)

3 テロ対策医療チーム特別編成(政府方針)
(DMATの周辺配置、五輪病院等指定)

その他の対策はこれからか？

○従前からの水際対策等の徹底

○自衛隊の活用をも視野に入れるべき
(防衛省: 特別行動委員会設置等)

○過去の事例

1972 ミュンヘン イスラエルのアスリート11人殺害

1996 アトランタ 五輪公で園爆弾テロ

2012 ロンドン 屋上にSAM配備

4 在外邦人保護

日本人の海外進出が多くなるにつれ、海外でテロに巻き込まれるケースも頻発しています。お屠蘇気分も抜けきらぬ正月に起きたアルジェリアの人質拘束事件では10名の日本人が犠牲になりました。

事件の概要を再掲します。

アルジェリア人質拘束事件



- ①アルジェリアイナメナス天然ガス精製プラント
(BP等の合弁企業、日揮参加)
- ②2013/1/16日～19日
- ③アルカイーダ系イスラム聖戦士血盟団
- ④日本人10人を含む37人が死亡
- ⑤アルジェ軍が警備・応戦、軍が包囲・攻撃し、
制圧して作戦終了
- ⑥アルジェ政府に対する要請
警視庁:国際テロリズム緊急展開班の派遣
アフリカ配置防衛駐在官2名のみ(情報収集に難)
邦人保護や在外邦人の輸送の在り方
官民連携等

日本政府は、有識者懇談会を開き、その報告書が4月に公表されました。その概要はスライドの通りです。自衛隊法の改正も検討されています。

在外邦人保護



- 1 在外邦人がテロに巻き込まれるケース多々
WTC爆破事件、9.11同時多発事件、バリ島爆弾テロ事件、イラク邦人人質殺害事件、アルジェリア人質事件等々
- 2 有識者懇談報告書(H25/4/26)
 - ・情報の収集・集約・共有、情報交換
 - ・通信・避難手段の確保
 - ・在外公館警備
 - ＊ 海外緊急展開チーム編成派遣初動対応等
 - ＊ 自衛隊法の改正方向(輸送手段車両追加、輸送対象者拡大、武器使用の場所・防護対象の拡大等)

5 テロ対処部隊について

対処の手の内を見せるのは賢明ではないかも知れませんが、報道・公表されている範囲で紹介しましょう。テロ対処には鎮圧と救急・応急の分野があり、次第に強化されつつあるようです。

テロ対処部隊等



- 1 鎮圧等
 - ・警察
SAT(約300人)、銃器対策部隊(約1700人)、NBCテロ対応専門部隊(約200人)、NBCテロ対策班
国際テロリズム緊急展開班、官邸警備隊
 - ・防衛省
陸海空自衛隊(特殊作戦群、特別警備隊、その他の部隊)
防衛省サイバー防衛隊
 - ・海保 特別警備隊(SST)
- 2 救出・応急等
 - ・消防 (スーパー、ハイパー)レスキュー部隊の編成等
 - ・医療関係機関の救急態勢

警察の部隊等については次のようなデータがあります。

警察のテロ対策部隊等



特殊部隊 (SAT : Special Assault Team)

- 体制** 8都道府県警察(北海道、警視庁、千葉、神奈川、愛知、大阪、福岡及び沖縄)に設置
- 任務** ハイジャック、重要施設占拠事案等の重大テロ事件、銃器等の武器を使用した事件に出動し、被害者や関係者の安全を確保しつつ、被疑者を制圧・検挙する。
- 装備** サブマシンガン、ライフル銃、自動小銃、特殊閃光弾、ヘリコプター等

銃器対策部隊

- 体制** 各都道府県警察の機動隊に設置
- 任務** 銃器等を使用した事案への対処を主たる任務とし、原子力発電所等の重要施設の警戒警備にも当たっている。また、重大事案発生時には、SATが到着するまでの第一次的な対応に当たるとともに、SATの到着後は、その支援に当たる。
- 装備** サブマシンガン、ライフル銃、防弾衣、防弾帽、防弾盾等

スカイ・マーシャル

- 任務** 航空機内で発生したハイジャック等のテロ事件に対し、被害者や関係者の安全を確保しつつ、被疑者を検挙する。

NBCテロ対応専門部隊 ※ NBCテロとは、核 (Nuclear)、生物 (Biological)、化学 (Chemical) 物質を使用したテロの総称。

- 体制** 9都道府県警察(北海道、宮城、警視庁、千葉、神奈川、愛知、大阪、広島及び福岡)に設置
- 任務** NBCテロが発生した場合に、迅速に臨場して、関係機関と連携を回しながら、原因物質の検知・除去、被害者の救出救助、避難誘導等に当たる。
- 装備** NBCテロ対策車、化学防護服、生化学防護服、生物・化学剤検知器等

以上で、第8回講座を終了します。

お勧め記事：[防衛駐在官と危機管理](#)

キーワード▶ [アルジェリア人質拘束事件](#)・[サイバー攻撃](#)・[テロ](#)・[テロ対策](#)・[地下鉄サリン事件](#)

いいね！ 9

[INDEXへ戻る](#)

次の記事 [山下塾第4弾 第9回 我が国のテロ対策の現状と課題](#)

前の記事 [山下塾第4弾 第7回 我が国のテロ対策の現状と課題](#)

[ページの先頭へ](#)

関連サイト

[防衛省](#)

[統合幕僚監部](#)

[陸上自衛隊](#)

[海上自衛隊](#)

[航空自衛隊](#)